



# 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043(222)7207 番  
FAX 043(252)607 番

2001.2.1 No.

## 検修外注化・シニア制度反対一決起した三名と共に闘うぞ！ 安全無視の検査周期延長を阻止しよう！

### 「完全民営化」

### は、安全よりも

### 徹底した合理化

### 推進だ！

一月二〇日、十三時から、DC会館に於いて、車両・技術分科会は、第十二回定期大会を開催し、「シニア制度」一検修・構内業務外注化絶対反対、安全無視のさらなる仕業検査周期延長阻止の闘いに、車両・技術分科会一丸となって立ち向かう方針を確認した。

定期委員会は、京葉支部・嶋田君の開会のあいさつの後、議長に津田沼支部・杉本君を選出して進められた。

はじめに、佐藤会長は「JR東日本は、車両・施設の保守部門を全面外注化すると言っている。これは安全面に責任を持たない、未恐ろしい鉄道会社と化してしまふものだ。車両・検修を担当している者としては、絶対に許せないことだ。車両・技術分科は、当該分科として、先頭になって闘う」と決意表明した。

続いて、来賓の中野委員長より「JR総連革マルと、革マル本体の分裂は、JR総連革マルが権力・会社に限りなく屈伏した表れだ。ますます会社の手先となり、労働者に敵対するのは明らか。『シニア制度』一外注

化阻止の闘いは、浅野さん・三平さん・羽鳥さんの決起で、地労委の場で闘われている。勝利命令をかち取り、組合委員一丸となって、JR総連解体・組織拡大、外注化阻止に向けて闘おう」と、車・技定期委員会に参加した組合員に訴えた。

経過報告、会計報告、予算(案)、運動方針の提起に続いて質疑・討論が行なわれ、活発な意見が出された。また、昨年度発足した共済会制度の整備などを確認し、満場一致で方針を決定し、定期委員会を終了した。

### 質疑で出された主な意見

- ・検査周期の延伸で、派出の体制は、どうなるのか。
- ・要員不足で業務に支障をきたしている人の確保を。
- ・217系車両のドア故障が多い。LCUの交換は、どうなっているのか。
- ・区に予備品の在庫がない。
- ・ATSSIPのRSCU-4は一個もない状況だ。
- ・217系のモニターも故障したまま走らせている。
- ・ATSSIPの工事について、信号を拾ってしまうので、フタを付けて工事すべきだ。
- ・京葉電車区の構内運転士は、



「車技分科は、総団結で闘うぞ!」がテーマ

### 2000年度役員名簿

役職名	氏名	支部
会長	佐藤博	木更津
副会長	田中龍美	千葉機
"	高橋栄	幕張
事務長	星和信	幕張
役員	山本茂雄	千葉機
"	渡辺敏博	館山
"	杉本則夫	津田沼
"	島田喜彦	京葉
"	川村雅巳	幕張
"	半田幸夫	幕張
"	吉野道夫	木更津
会計監査員	鈴木嘉夫	木更津
"	結城敏之	幕張

### 車両技術分科会定期委員会



昨年十一月以降、一名の要員不足で回している。早急に要員確保を。

重労働の元、決意も新たな佐藤会長

大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう！